



Customs Alert

自主開示制度の適用による関税延滞金の 軽減措置

※本ニュースレターは、英文ニュースレターの翻訳版です。

日本語訳と[原文](#)（英文）に差異が生じた場合には、原文が優先されます。

概要

タイの財務省は、2021年5月29日付の官報で、新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」）の感染拡大期間における輸出入を行う者に対する時限的救済措置として導入された関税延滞金の軽減に係る基準を含む省令第2号仏暦2564年を公布しました。本省令は、関税を故意によらずに過少納付してしまっていた輸入者に対して、当該誤納付の事実を関税局に自ら開示して不足額を自主的に納付することを奨励するものです。その見返りとして、通常適用される関税延滞金が一時的に軽減され、月利0.25%が上限とされます（現行の関税延滞金は、納付時期により月利0.25%から1%の範囲で設定）。本軽減措置は、2021年6月1日から2021年9月30日まで適用されます。

主な内容

輸入に際して関税・VATを納付しなかった又は過少に納付していたタイ企業が税関事後調査を受けた場合には、関税課徴金、VAT罰科金、毎月の関税・VAT延滞金と併せて、関税・VATの過少納付額を遡及して納付しなければならないリスクを負います。税関は、通常5年前に遡及して企業の税関に関連する活動を調査します。

しかしながら、2021年4月にCOVID-19第3波がタイに襲来して以来、税関は、既に感染拡大による被害に見舞われている企業に過度な負担をかけないよう、事後調査に制限を設けています。

代わりに、追加納付を伴う関税の法令遵守違反を自主開示する企業に恩典を付与することとされました。関税の追加納付のためのワンストップサービス（ワンストップサービスプログラム）は、関税の課徴金を免除した上で、輸入者が関税及びVATの納付不足額を一括して中央関税局に開示することを認めています。本制度は、2021年9月30日まで適用可能です。

さらに、新たに公布された関税延滞金の軽減に関する省令により、税関に自主開示を行い、関税の納付不足額を指定期間内（2021年6月1日から2021年9月30日までの期間）に税関に納付する企業については、毎月の関税延滞金を関税の納付不足額の0.25%（納付不足額を上限）に軽減することも定められました。

関税の納付不足額は、輸出入が行われた日から納付日までの期間における納付不足額を月ごとに計算して算定されます（ただし、納付不足額を上限）。

対応策

現行の自主開示制度の適用期限は、2021年9月30日とされています。COVID-19の感染状況が落ち着くことが前提とはなりますが、当該適用期限の満了後、税関が再び事後調査を強化していくことが予想されています。

そのため、輸出入を行う者は以下の対応策を講じることが推奨されます。

- 1 自社が関税関連の法令遵守をしているか判断するために輸出入活動に係る社内調査を行い、潜在的な関税及びVAT債務を把握すること
- 2 課徴金減額に係る時限的措置（納付不足額の月利0.25%）及び罰金免除の適用可能性を探るためにも、自主開示制度の適用による税関に対する法令非遵守事項の開示を検討し、指定期間内（2021年9月30日）に関税納付不足額を納付すること

それと同時に、輸出入を行う者は、故意によらず関税及びVATが未納となっている全てのケースについて、税関当局と共に解決するワンストップサービスプログラムの適用を検討することも有用です。2021年9月30日までに申請及び納付を行うことで、関税の罰金が免除される可能性があります。

お問い合わせ先

- Nu To Van, Partner Customs & Global Trade, ntovan@deloitte.com
- Sujitra Sukpanich, Director Customs & Global Trade, ssukpanich@deloitte.com
- Tom Cachet, Manager Customs & Global Trade, tocachet@deloitte.com

Get in touch



Deloitte refers to one or more of Deloitte Touche Tohmatsu Limited (“DTTL”), its global network of member firms, and their related entities (collectively, the “Deloitte organization”). DTTL (also referred to as “Deloitte Global”) and each of its member firms and related entities are legally separate and independent entities, which cannot obligate or bind each other in respect of third parties. DTTL and each DTTL member firm and related entity is liable only for its own acts and omissions, and not those of each other. DTTL does not provide services to clients. Please see www.deloitte.com/about to learn more.

Deloitte Asia Pacific Limited is a company limited by guarantee and a member firm of DTTL. Members of Deloitte Asia Pacific Limited and their related entities, each of which are separate and independent legal entities, provide services from more than 100 cities across the region, including Auckland, Bangkok, Beijing, Hanoi, Hong Kong, Jakarta, Kuala Lumpur, Manila, Melbourne, Osaka, Seoul, Shanghai, Singapore, Sydney, Taipei and Tokyo.

About Deloitte Thailand

In Thailand, services are provided by Deloitte Touche Tohmatsu Jaiyos Co., Ltd. and its subsidiaries and affiliates.

This communication contains general information only, and none of Deloitte Touche Tohmatsu Limited (“DTTL”), its global network of member firms or their related entities (collectively, the “Deloitte organization”) is, by means of this communication, rendering professional advice or services. Before making any decision or taking any action that may affect your finances or your business, you should consult a qualified professional adviser.

No representations, warranties or undertakings (express or implied) are given as to the accuracy or completeness of the information in this communication, and none of DTTL, its member firms, related entities, employees or agents shall be liable or responsible for any loss or damage whatsoever arising directly or indirectly in connection with any person relying on this communication. DTTL and each of its member firms, and their related entities, are legally separate and independent entities.

© 2021 Deloitte Touche Tohmatsu Jaiyos Co., Ltd.